

# 銀河レポート401

No. 49  
6月号

発行日：令和元年6月1日  
編集&発行：四日市市立博物館  
プラネタリウム  
電話：059-355-2700  
HP：http://www.city.yokkaichi.mie.jp/museum/museum.html

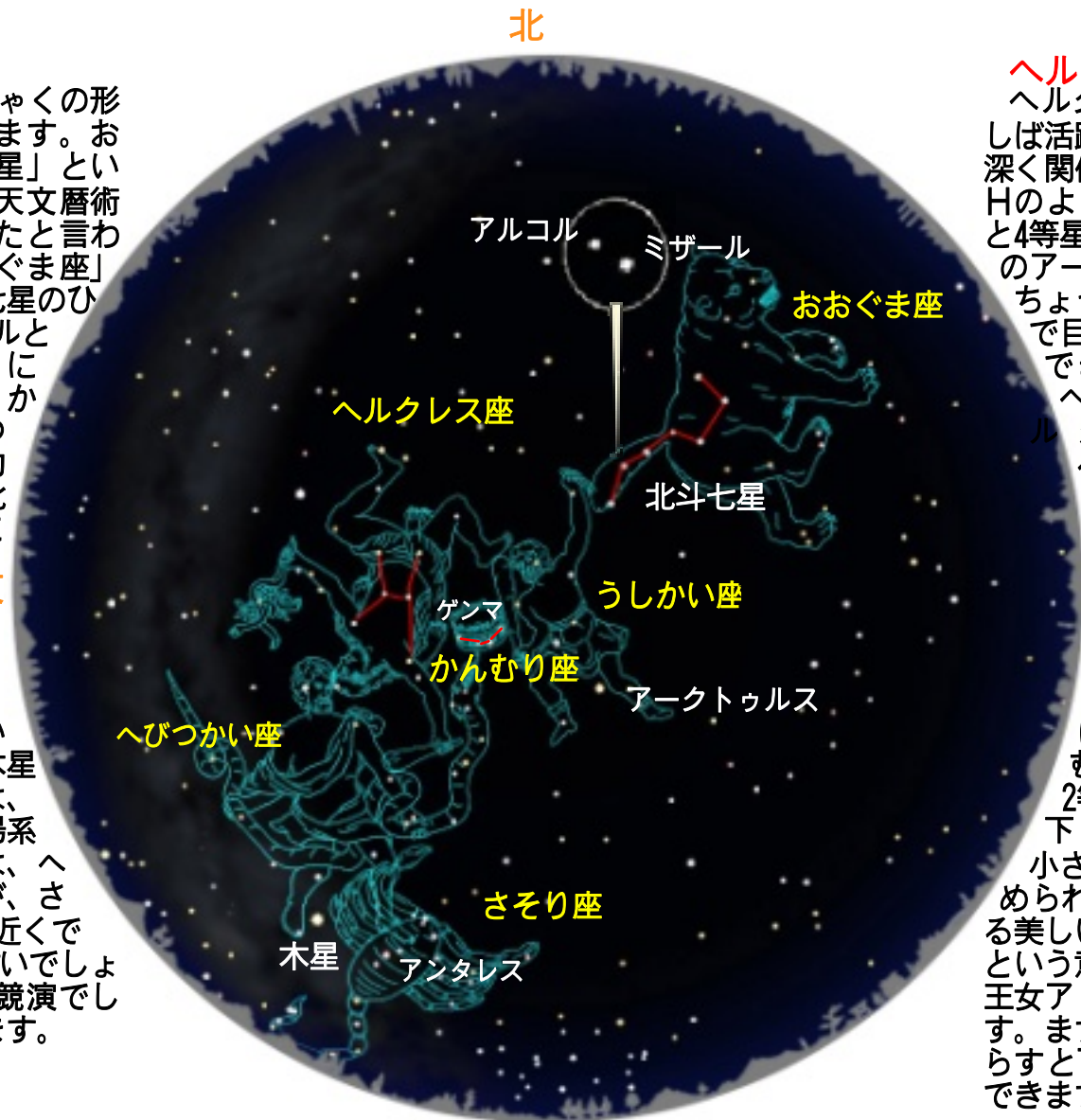
## 6月の星空

### 北斗七星

6月の北の空をながめると、ひしゃくの形をした七つの星が空高くに見られます。おなじみの北斗七星です。「北斗七星」という呼び名は、飛鳥時代に陰陽道・天文暦術とともに百済から日本へ伝えられたと言われています。星座としては「おおぐま座」の一部です。ところで、この北斗七星のひしゃくの柄の先から2番目にミザールという明るい星があり、そのすぐ近くにアルコルという暗い星があります。かつてアラビアの砂漠の民はこの二つの星を見分けられるかどうかで視力の検査をしたと言われていました。北斗七星が空高くにある今の時期にこの二つの星を見分けられるか挑戦してみてくださいはいかがでしょうか。

### 木星

空から全天で一番明るい恒星であるシリウスが姿を隠しましたが、いよいよシリウスを上回る明るさの木星が夜空に登場してきました。木星は、星座を形づくる恒星ではなく、太陽系の中の最大の惑星です。今年の夏は、へびつかい座の足下近くで輝きますが、さそり座の北、1等星のアンタレスの近くで輝いていると言った方がわかりやすいでしょう。昨年、アンタレスは火星との競演でしたが、今年は木星との競演となります。



6月15日21時の星図

南

星図：ステラナビゲータ10/(株)アストローツ

### ヘルクレス座

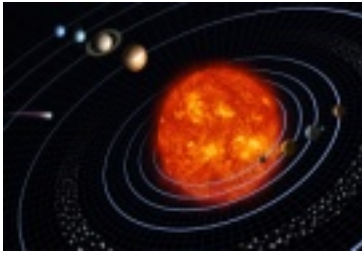
ヘルクレスはギリシャ神話の中でしばしば活躍している、いくつかの星座にも深く関係しています。アルファベットのHのような星の並びが目印です。3等星と4等星の暗めの星座ですが、天頂付近のアークトゥルスと東の空のベガとのちょうど中間あたりに位置しているのを目をよく凝らすと見つけることができます。ギリシャ神話によると、ヘルクレスは大神ゼウスと王妃アルクメネーとの間に生まれました。ヘルクレスは赤ん坊の頃に両手で二匹の毒蛇をしめ殺したほどの怪力で、後に12の大冒険をやり遂げたことで知られています。

### かんむり座

うしかい座とヘルクレス座の間に7個の星が半円形に並んだかんむり座が見られます。この星座は、2等星のゲンマ以外の星は4等星以下と暗いのですが、ゲンマを中心に小さく丸く並んだ姿は王冠にちりばめられた宝石のように見えて印象に残る美しい星座です。ゲンマには「宝石」という意味があり、ギリシャ神話では、王女アリアドネの王冠とも呼ばれています。まず、ゲンマを見つけて少し目をこらすと7個の並んだ星列をたどることができます。

## 小惑星へのタッチダウンの目的

小惑星探査機「はやぶさ2」は、小惑星リュウグウ表面へのタッチダウンや人工クレーター作りに成功しました。タッチダウンとは、表面に接触して岩石や砂粒等を採集することです。地球は、微惑星の一部が集まってできたと考えられています。それらが衝突したときの熱でいったん溶けてから固まっているため、地球をつくった元の物質についての情報は失われています。一方、小惑星は、地球が誕生した頃の情報をそのまま持っていると考えられています。そのため、小惑星を調べることで、太陽系がどのように生まれ、進化してきたのか、また私たちのような生命をつくる元になった材料がどのようなものであったのかについて、重要な手がかりが得られる可能性があるのです。はやぶさ2が採集物を無事に持ち帰れると良いですね。



## ガリレオ教室 報告

### 〈はやぶさ2のミッション〉

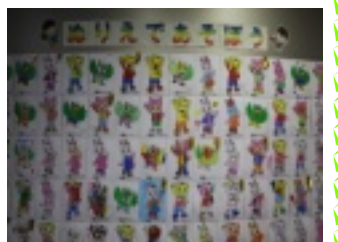
小惑星探査機「はやぶさ2」の活躍の様子が、テレビのニュース等で報道されています。ミッションを達成するための様々な工夫について、天文ボランティアが映像や実験を通して説明しました。参加者のみなさんにとっては、意外な驚きもあり、楽しみながら学んでいただきました。



## ぬりえであそぼう 報告

### 作品の展示をしました

4月27日(金)～5月6日(月・休)に5階コズミックラウンジで実施しましたコズミックスクール「ぬりえであそぼう」には多くの幼児のみなさんが参加してくれました。その時に提出いただいた作品を館内(5階)に5月11日(土)～26日(日)の期間展示をして多くの来館者に見ていただきました。



## ★★観望会★★

### 《天文ボランティア主催観望会》

日時：6月8日(土)  
時間：19時30分から21時  
場所：市民公園  
内容：月と木星を見よう

※天候不良時は中止です。  
※当日の自由参加・無料です。  
※きらら号は出勤しません。

### 《博物館主催きらら号観望会》

日時：6月22日(土)  
時間：19時30分から21時  
場所：市民公園  
内容：木星を見よう

※天候不良時は中止です。  
※当日の自由参加・無料です。

## 6月の月

3日		新月
10日		上弦
17日		満月
25日		下弦

## 編集後記

約5ヵ月間、夜空で青白い光で輝き続けていたシリウスは西の空に沈み、天頂付近で黄金色のアークトゥルスが、そして、南の空で木星がひととき明るく輝いています。今年の夏至は6月22日です。夜の時間が短い6月は、梅雨の期間とも重なって、星空観察には不向きではありますが、少しずつ立ち上がってくる夏の天の川を想像しながら夜空を眺めたいと思います。